

# 知覚過敏を治したい!

知覚過敏とは外界の刺激から歯を守ってくれているエナメル質のどこかが失われたり、ヒビ割れたりすることで起こる症状。エナメル質に守られていた象牙質がむき出しになり、刺激を受けるとその刺激が神経に届き、「キーン」と頭をつき抜けるような鋭い痛みが起こります。



知覚過敏の治療は、段階的にすみやかに進めます。

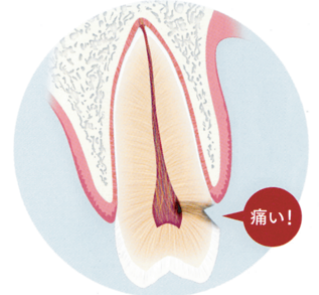
## STAGE 1

### 自然治癒を促す。

生活の中に隠れたりリスクを発見して改善しましょう。

- \* ゴシゴシみがきしていませんか?
- \* すっぱい飲食物好きですか?
- \* 歯ぎしり、食いしばりしていませんか?

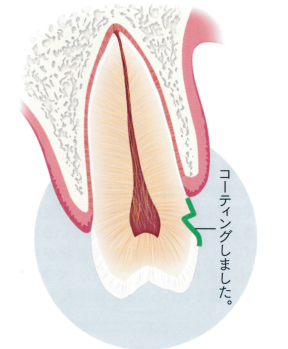
etc.



## STAGE 2

### コーティングする。

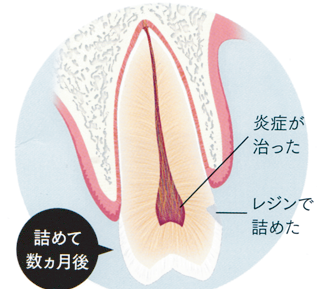
コーティング剤を塗ってむき出しになった象牙細管をふさぎ、外からの刺激を遮断(しゃだん)します。



## STAGE 3

### レジンで詰める。

歯の中に細菌が入り炎症が起きています。新たな細菌が入らないように、しっかりとレジンを封鎖して刺激を遮断し、安静を保っていると徐々にしみる症状が消えていきます。



治りました!

## STAGE 4

### 神経をとる。

歯の亀裂やむき出しになった象牙細管から細菌が大量に入り、神経で重い症状が起きてしまいます。こうなってしまうと残念ながら神経を取り除き、痛みを止めることになります。



知覚過敏は歯のトラブルのサイン。早めにキャッチして歯の健康維持に役立てて!

つい軽く考えがちな知覚過敏。でも知覚過敏の症状には進行したむし歯と同じような神経の炎症による痛みも含まれます。「ただの知覚過敏だ、大丈夫。」と油断せず、一度ご相談下さい。